

登壇者経歴

モニカ・ベージェ Monica Bethe

中世日本研究所所長。美術史・文化史を専門とし、特に歴史染織に関する研究に長年携わる。日本の伝統文化、女性史、尼門跡寺院文化、美術工芸史など幅広い分野で研究を行ってきた。現在、京都の中世日本研究所所長として、京都・奈良の尼門跡寺院に伝わる歴史、文化財、儀礼、文書等の調査研究を進めるとともに、その成果を国内外に発信している。また、大聖寺門跡所蔵の昭憲皇太后大礼服をはじめ、重要な文化財の調査研究と保存修復を支援し、国内外の専門家・研究機関との連携による文化財保存にも取り組んでいる。主な著作に、共著・編著 『尼門跡寺院の世界——皇女たちの信仰と御所文化』（産経新聞社、2009 年）、『皇后がまとう明治の美—大礼服修復の歩み』（光村推古書院、2025 年）などがある。

ジョアナ・マーシュナー Joanna Marschner

元ヒストリック・ロイヤル・パレス・シニア・キュレーター。美術史、文化史・物質文化史を専門とし、17 世紀から 21 世紀にわたる英国王室史を主な研究領域とする。ヒストリック・ロイヤル・パレスに長年勤務し、特に王室儀礼服コレクションの研究に携わるなかで、英国およびヨーロッパの服飾に関する専門的知見を培ってきた。また、宮殿空間における王室の視覚的表象への関心を基盤に、王室家具とその製作についても研究を行っている。主な著書に *Queen Caroline: Cultural Politics at the Early Eighteenth Century Court* (Yale University Press, 2014)、編著に *Enlightened Princesses: Caroline, Augusta, Charlotte and the Shaping of the Modern World* (Yale University Press, 2017)、*Queen Victoria: Leaves from the Journal of Our Life in the Highlands* (Oxford University Press, 2024) がある。

太田 彩 Aya Ota

元宮内庁三の丸尚蔵館首席研究官。奈良大学文学部文化財学科卒業。奈良国立博物館学芸課非常勤職員を経て、1992 年より宮内庁三の丸尚蔵館の学芸員として、長年にわたり皇室伝来の美術品の調査研究、保存修理、展示公開に携わり、現在まで皇室の美術品調査整理に関わる。三の丸尚蔵館では、特に伊藤若冲《動植綵絵》全 30 幅をはじめとする旧皇室コレクションの名品の修理、保存継承事業および調査研究に深く関わったほか、皇室および旧宮内省にゆかりのある近世・近代の絵画、工芸、美術染織などについて幅広く研究し、多くの論文などを通してそれら作品の日本文化における意義を紹介している。主な著書に『伊藤若冲 作品集』（東京美術、2015 年）などがある。

ロベルタ・ジェンタ Roberta Genta

ラ・ヴェナリーア・レアーレ保存修復センター（CCR）保存修復研究室副所長・染織文化財部門長。トリノ大学にて美術史および修復理論を学び、染織文化財の保存修復を専門とする。2007年よりCCRの染織・皮革文化財部門を統括し、2016年より保存修復研究室副所長を務める。考古資料からタペストリー、歴史的壁装、椅子張地などの室内装飾用染織品に至るまで、歴史的染織文化財の保存修復に関する方法論を元に、近年は特に、歴史的建造物の室内調度品の予防的保存に関する学際的な手法とプロトコルの構築を目的とした国際共同研究に取り組んでいる。また、修復史に関する学術論文の執筆や国際会議での発表を通じ、国際基準に基づく保存修復手法の普及にも携わっている。

アンナ・ピッチリッロ Anna Piccirillo

ラ・ヴェナリーア・レアーレ保存修復センター（CCR）科学研究室コーディネーター。博士（化学）。2004年、トリノ大学にて化学博士号を取得。天然有機結合材の特性と経年変化に関する研究で博士論文を執筆した。2014年よりCCRのヘリテージ・サイエンティストとして、古代エジプトの文化財から近現代美術まで、幅広い文化財の保存修復に関する科学的分析・診断に携わり、現在、科学研究室コーディネーターを務める。専門は、侵襲・非侵襲分析を組み合わせた美術材料および劣化生成物の科学的分析。FTIR（フーリエ変換赤外分光法）、XRF（蛍光X線分析）、SEM-EDX（走査電子顕微鏡・エネルギー分散型X線分析）、光学顕微鏡などによる分析に豊富な経験を有する。現在は、顔料と結合材の相互作用、歴史的染織品のクリーニング手法や予防的保存などについても研究している。また、保存修復分野における専門家育成や知識・技術の共有にも積極的に取り組んでいる。

宮本 しげる Shigeru Miyamoto

株式会社ミネルバ代表取締役／二代目家具モデラー。家具類内張工として、伝統的な椅子張り技法からオーダー家具の製作、歴史的家具の修復・復刻まで幅広く手がける。海外での家具製作経験も有し、2016年度東京都優秀技能者（東京マイスター）知事賞を受賞。宮内庁関連の椅子の修復・製作をはじめ、文化財や歴史的家具の保存修復にも携わっている。